

風がない時はそうでもないが、吹雪くと身の毛がよだつ様な寒さを感じる。気温よりもこの強風がやっかいである。秋学期も終わり、成績が発表された。今回はその報告と来学期の履修科目、Winter Vacation について報告する。

秋学期に履修した科目の成績

・ESL110 English Pronunciation for Academic Purposes

ESL110 の評価は B。担当教授からの励ましもあり、発音も以前に比べ、聞き取りやすいものになったという。しかし、A 評価であろうが成績に関係なく引き続き努力は必要とのこと。この留学期間中に更に発音に磨きをかける。

・ESL113 English Structure & Paragraph Dev

ESL113 の評価は A。Homework に時間を要したが、満足のいく結果である。しかし、この評価方法も曖昧な点があり、本当に評価どうりの writing の能力が身についたかどうかは難しい。引き続きこの次の教科である ESL114 で能力を伸ばして生きたい。

・AE311 Incompressible Flow

AE311 は D の評価であった。どの教科でも一番力を注いだ教科で、Homework ではそこそこの成績をとることができた。しかし、テストとなると出題される問題の難易度も宿題のそれよりも高く、時間を要してしまい解くことができなかった。Homework は時間をかければできるが、テストではそうはいかない。如何に早く問題を解くことがじゅうようであるか痛感させられた。

しかし、この教科を受講することで今の親しい友人とも出会え、DBF のチームメンバーとともに活動できた。成績からすると喜ばしいものでないが、個人的にはこの教科を受講して間違いは無かったと信じたい。

・AE321 Aerospace Structures

AE321 は担当教員との相談の結果、テストは受けず聴講という形で受講していた。しかし、授業の内容はかなりきついものがあつた。それもそのはずでこの科目は undergraduate の科目ではあるが、他の大学では graduate で学ぶような内容はであるとはその教授の話。

春学期に履修する科目

春学期に履修する予定の科目は以下の通り

- | | |
|------------------------------------------|----------|
| ・ ESL 115 Principles of Academic Writing | 3 credit |
| ・ AE 353 Aerospace Control Systems | 3 credit |
| ・ AE 397 Independent Study | 3 credit |
| ・ ME 370 Mechanical Design, I | 3 credit |

各 3 credit の 4 科目であるから計 12 credit である。

ESL 115 Principles of Academic Writing

前述では ESL114 を履修する予定であったが、別の授業と時間帯が重なってしまったため、同じ Writing の授業である ESL115 を履修することにした。

AE 353 Aerospace Control Systems

主に飛行機の制御理論について、学ぶ科目である。帰国後に行う修士のテーマを担当のアドバイザーに伝えたところこの教科を履修することを勧められ、履修することにした。

AE 397 Independent Study

この教科は自主的活動が単位として認められる。この教科では DBF(Design Build Fly)での活動とレポートが評価される。金沢工業大学で例を挙げると、夢考房プロジェクトでの活動が単位として認められるようなものであるが、より Academic に物事を追求するのがこの科目の特徴である。来学期は何のテーマについて調べるかはまだ決められてはいないが、競技大会が4月にあるため忙しくなるのは明らかであるが、成果が残せるよう精一杯励みたい。

ME 370 Mechanical Design, I

主に機構学について解析的な視点から学ぶ学問で同じ機械系の学生からいい評判を聞いたため履修することにした。現在ではインターネットから履修申請を登録できるようになっているが、この科目は Mechanical Engineering 専門の科目なので学科の所属が Aerospace Engineering で登録してある私はそれができなかったため、現在のところ担当教員と相談中である。

Winter vacation

アメリカの大学にも冬休みがある。UIUC の場合は長くそれが一ヶ月間ある。それでも一部の学生はリサーチの為にキャンパス内に留まるのは日本と同じであるが、さすがにクリスマスと新年の間は休止するようだ。日ごろから親しい友人である Ethan からクリスマスパーティの招待を受け、馳走になることにした。

その後は別の友人とイリノイ州の北にあるウィスコンシン州まで出掛け、スキーを楽しんだ。イリノイ州やウィスコンシン州で降る雪はさらさらとしており、スキー場も日本のそれとは違い傾斜が浅く、難易度もそう高くは無い。その理由は山というよりも小高い丘が雨風により浸食されたため、なだらかな山が形成という印象であった。そのため私のスキーの腕でも歓声を浴び、鼻高々だった。

本留学も残すところ後5ヶ月、月日が発つのを最近早く感じられる。残り少しを精一杯、そして有効に活用していきたい。